

やなむね

家棟川ビオトープ。水鳥観察会を 開催しました～(^ ^)

平成26年11月9日(日)9時から野洲市野田地先にある家棟川ビオトープで自然観察会を開催しました。今年2回目の観察会で、朝から雨が降るあいにくの天気にもかかわらず、公募で集まっていた家族連れや個人の方々17名が参加され、我々スタッフ18名を合わせると計35名での開催となりました。

悪天候のため、予定していた船に乗っての観察は中止となりましたが、前日から仕掛けておいた刺し網で捕獲した魚の説明と投網とあみの投げ方の説明、またその後、ヨシの説明、水鳥や植物の観察を行い、最後に、ビオトープ内に自生していた野草の天ぷらを試食しました。



刺し網で捕獲した魚を観察

刺し網で捕獲した魚の説明では、網にかかったままの魚を見ていただき、魚を捕る方法について学習しました。

ヨシの説明では、県内で取り組まれているヨシ帯の復元について話を聞き、ヨシ帯は魚や水鳥の生息場所や産卵場所になるなど、水辺で暮らす生き物の保護にとって大切なものであることを学びました。



望遠鏡で水鳥を観察

双眼鏡を使つての水鳥の観察では、キンクロハジロやホシハジロが見られ、鳥の見分け方も学習しました。

ビオトープ内で植物の観察



植物の観察では、葉っぱの中には「複葉」といって何枚もついている葉っぱに見えて、実は1枚の葉っぱが変化したものだ」と聞き、とても感心していました。

最後に、全員揃っての記念撮影をした後、ビオトープ内で採れた野草の天ぷらをみんなで試食しました。ウシハコベやスイバ、アカツメクサの葉や花、ヨモギ、セイタカアワダチソウなどの野草の天ぷらを食べると、「ウシハコベは食べやすい。スイバは文字通り酸っぱい味が

する。アカツメクサの花はクセがあるが葉はあっさりしている。」など、いろいろな感想が子どもたちから聞こえてきました。おにぎりを持参している参加者の方もおられ、楽しい時間を過ごしていただきました。

来年度も引き続き
自然観察会を予定
しておりますので、
多数のご参加お待ち
しております！！

<(_“_)>



参加者全員で記念撮影

家棟川ビオトープ自然観察会

主催 NPO法人家棟川流域観光船、滋賀自然環境研究会、琵琶湖河川事務所
野洲市、南部土木事務所、滋賀県(流域政策局河川・港湾室)

協力 水資源機構(琵琶湖開発総合管理所)

事務局 滋賀県(流域政策局河川・港湾室)